



## F2ブロック 各地の災害を教訓に

F2ブロック本部長 (200区長) 谷口忠義

10月12日、心配した台風19号が北海道直撃のコースを外れたため、穏やかな天気の中で訓練が行われた。訓練の内容がマンネリ化しているのではないかと声を聞かれる中、参加者が少なくなるのではないかと心配しました。近年転入してこられた若い家庭の会員も増えたことと、台風19号で被害が多発した本州の災害が報道され、防災への関心が高まったこともあり、

80名の方が参加された。今も多くの行方不明者が居ることや、復旧にめどが立っていない地域が多く残されていることなど、国民全体の関心事としてとらえられている。このような事から地域の防災訓練の役割が重要であることとを自覚し、引き続き取り組んでいかなければならないと感じている。ただ、今の防災訓練は、地震による災害への対応を

中心としたもので、月寒川の直下にあるわが町内としては、水害に対する備え、避難の在り方などさまざまな点に役立つ対策を検討していかねばならないと感じている。F2: 毛布を使った簡易タンカの実演



F2: 毛布を使った簡易タンカの実演

2019年 10月29日 第148号  
 ネット検索は北郷東町内会  
 発行責任者 鼻野木辰則  
 編集責任者 佐藤静男

# 2019 秋の自主防災訓練のまとめ

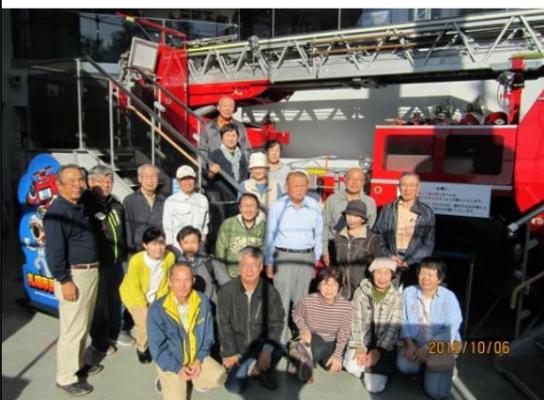
約400名(予定含む)が参加。(裏面も参照)

E2ブロック「防災センター」で災害体験  
 E地区担当統括本部副本部長 三枝木秀男

## C・D地区、防災センターを体験して

C地区担当統括本部副本部長 小坂恭一

10月6日、札幌市民防災センターにて色々な災害体験と説明を聞いてきました。その話の中で、①各自それぞれが最低3日間の生活必需品を備蓄する事。②災害発生時には先ず「焦らず、落ち着いて」。特に地震発生時には、身の安全を確保し揺れが収まってから行動(ガスを止める、ストーブを切る)する事。③町内会の各区・班においては、災害発生時に「手助けが必要の人」を日頃から把握す



2019/10/06

る事が強調されました。日本は、災害発生多発列島です。せめて普段より最低限の備えを忘れずに！(写真はC・D地区の参加者)  
 22・23・31区で構成される防災会E2ブロックは6日、札幌市民防災センターで災害体験学習をしました。煙避難体験から地震体験、暴風体験などフルコースの体験ができました。災害バーチャル体験は4Dシアターでのリアルなもので建設当初より格段に効果的な展示となっていました。今回は16名の参加でしたが、もっと多くの会員にぜひ一度来ていただきたいと思えます。平日であればゆったりと学習できると思います。



E1ブロックの発電機の操作訓練



防災センターの消火器実演

B地区(6~12区、32・33区)防災訓練は11月17日に実施予定です  
 集合場所や内容は別途案内します

## 急募!

### 北郷東町内会事務員

\*事務職(女性向け)1名

勤務時間: 10:00~17:00  
 休日: 土曜・日曜・祝日  
 <委細面談>  
 電話連絡の上、履歴書持参下さい。  
 連絡先: 電話 875-2952  
 担当: 事務長 伊藤  
 <締め切り日> 11月15日

11月の日程	
6日	三役会議
17日	B地区防災訓練
29日	広報149号発行
12月の日程	
4日	三役部長会
11日	役員会
14日	路上駐禁パトロール
18日	第4回区長会議
未定	Xマス子ども会
25日	広報150号発行
27日	仕事納め
1月の日程	
6日	仕事始め
未定	新年会
8日	三役会
28日	広報151号発行

『防災について』  
 統括防災リーダー 小林公一

『天災は、忘れたころにやってくる』という警句がありますが、皆様も小さい頃より一度は耳にした言葉だと思います。ふと、誰の言葉かと思い調べましたところ、寺田寅彦という物理学者にして防災学者もされた方とのことでした。今年も北郷東町内会においても各地区にて防災訓練・講習をそれぞれ行っておりますが、避難場所や消防署職員・消防団員の方々よりAEDの使い方、心臓マッサージ等の実技講習や簡易担架の作り方・使い方など丁寧に指導を頂きました。

また、防災センターには、煙避難訓練・暴風体験・地震体験・消火体験・3Dシアター災害体験等のテクノロジーを駆使した内容で充実した防災訓練となっております。昨年のブラックアウトにて電気の有り難さを身に染みて感じさせられました。それを踏まえてか、発電機に関する実技・講習・質疑応答等と車いすの扱い方を訓練メニューにされた地区もあり創意工夫を凝らした内容になっております。今年も、豪雨災害が各地において発生しており天候変化している事は否めないかと思えます。災害の少ない札幌市ですが、想定される災害は、水害と云います。

北郷には、月寒川と近くに望月寒川が流れており、それらが氾濫すると町内会の半分が洪水の犠牲になりそうです。50cm未満から酷い所は、3m位まで水位が想定されておりますので、一度札幌市の洪水ハザードマップ等を参照して有事の際に自宅は安全か、また一番近い避難場所はどこかなど確認しておくのも良いかと思えます。

『備えあれば、憂いなし』 『転ばぬ先の杖』の故事に倣い、また寺田寅彦氏に敬意を表して年末を迎える前に一度身の回りを整えてみて頂ければと思います。